



昨年 今年

館報 まつかわ

松川町公民館報
第676号
令和2年2月15日

町の川 ⑱ ムツカシ沢
昨年と今年の滝 対比
(左) (右)

探検 雨乞いの滝



START

頑張るぞ!!



今月の表紙に載せた「雨乞いの滝」
冬は滝が凍ると知り、氷瀑を期待して、1年で最も寒いといわれる大寒を過ぎた1月25日に行ってきました。
表紙でご覧の通り、氷瀑どころか氷1つ見ることもできないほど、この冬は温かいです。

片桐松川

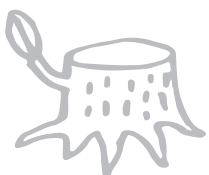
目印の大木



カシ沢



険しい道のり…。



行ってみよう！ 氷瀑

行程

片桐ダムをさらに上流へ向かうと道が二股に分かれ、その場所に「雨乞いの滝」の看板が現れます。ここからは車が入れないので歩きです。看板には「徒歩20分」とあります。

滝へ向かう道筋には、同じように「雨乞いの滝」の看板が立っているので看板に従って進んでいきます。初めてでも安心して行くことが出来ました。

滝は片桐松川の支流「ムツカシ沢」にあり、その川沿いを進んでいきます。途中で川を渡らなければならぬところが数ヶ所あるので、長靴は必須です。

山の初心者には探検気分になれる山登りと沢渡り。あまりの水量に、大きな石を川の中に置いて渡りやすくしたりと、一筋縄ではいかなかったため、もう冒険気分です！

(夏なら川に入ってしまったてもいいですけどね)



ドローンも活躍！



心強い男性陣

到着

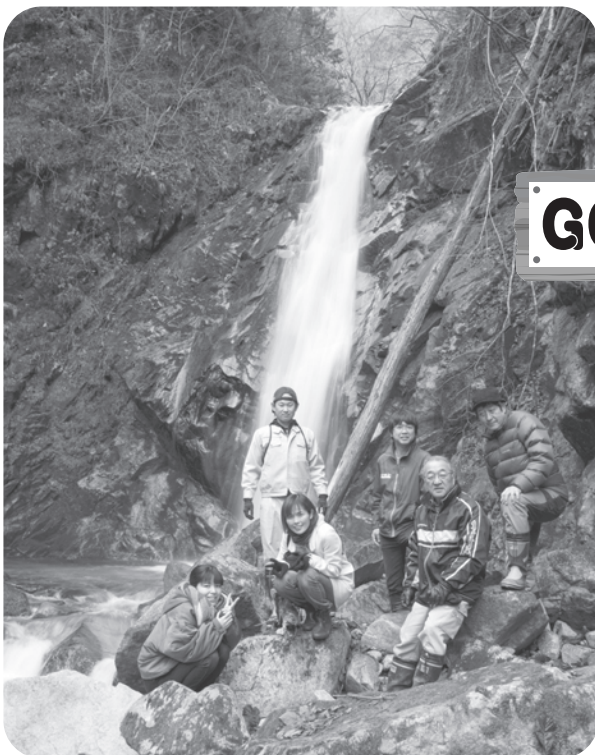
滝に到着するとその迫力に圧倒され、何分かつたか時計を見るのを忘れてしまいました(お恥ずかしい・・・)。

氷瀑は見られませんでした。松川町にもこんな立派な滝があるのだと感動しました。

まだ行ったことのない方はぜひ行ってみてください。

GOLE

大迫力の滝の前で記念撮影



戦前の学校教育に関わる文化財 上片桐尋常高等小学校の 奉安殿

鶴部八幡社に保存

奉安殿とは、第二次大戦前、各学校に下賜された天皇や皇后の御真影や教育勅語などの謄本を保管するため学校に設けられた特別な建物です。御真影の下賜が始まった時期は明治43年以降で、奉安殿の成立もこの頃と推測されます。当初は校舎内の特別な

場所奉安所に保管されるのが一般的でしたが、火災などの事故が後を絶たず、大正中頃以降、校舎から離して奉安殿が設置され初めました。小学校への奉安殿の建築は、戦時色が濃厚となった昭和10年頃に活発化しました。



鶴部八幡社に保存される上片桐尋常高等小学校の奉安殿

◇ 上片桐尋常高等小学校の奉安殿は、大正4年(1915)8月に大正天皇の御即位記念事業として、当初から校舎外に独立して建設されました。当時の校地は大高日神社東にあり、校庭の西隅、校門から向かって左側に建設され、土蔵・神殿造りで、間口7尺、奥行7尺、正面に土扉を取り付けて前面に石段を設けました。総工費150円、主として村内62人の篤志寄付金であつたと記録されます。

◇ 戦前の四大節しだいせつとは、四方節(四方拝)・紀元節・天長節・明治節という四つの祝祭日のことで、祝賀祝典の際には、職員生徒全員が奉安殿の前に整列し、御真影に対して最敬礼を奉る事と、教育勅語の奉読が行われました。祝日で授業は休みですが、職員生徒は登校し、この行事を行ったのです。「礼服に身を包んだ校長先生が白手袋で緊張して奉安殿の扉を開け、教育勅語を頭上に戴き、震える声で教育勅語を奉読された」というような記憶が語られます。祝賀祝典のみならず、普段の登下校時など奉安殿の前を通る時

は、職員生徒全てが服装を正し最敬礼するように定められていました。
終戦後、GHQの神道指令により奉安殿の廃止が決定され、翌年の文部省次官通牒つうはくによって小学校からの奉安殿全面撤去の指示が出ました。指示が「撤去」であつたため、破壊を免れ校地から切り離され、神社の倉庫など、地域の共同施設などに再利用され、現存するものもあります。

◇ 大島尋常高等小学校では昭和3年9月に奉安所を講堂より分離し、校庭の東(現忠魂碑の位置)にコンクリート造りで新築しました。戦後取り壊され、正面の菊の紋章は個人宅に保管されています。昭和13年5月に完成した生東尋常高等小学校の奉安殿は校地東の小山(芳重地蔵の近く)に建設され、今は石段が残っています。

◇ 上片桐尋常高等小学校の奉安殿は鶴部の八幡社に宝蔵として移築され、今日ほぼ当時のままの姿で残っています。何時頃、どの様な経緯で移築が行われたのかを記す資料に会っていません。幸いにも



上片桐尋常高等小学校校舎と奉安殿(左端)



大正4年、竣工時の奉安殿

(松川町文化財アドバイザー
酒井幸則)

松川町今昔
 (資料館だより)
 ◆第43回◆
「名子有志学友会」
 (その7)

今まで名子有志学友会のいろいろな面を史料から紹介してきましたが、今回からは会が発行していた「学之友」について、紹介していきます。

特徴は雑誌と書かれていますが、会員の作品集です。作文、詩、短歌、俳句、書写、絵画など



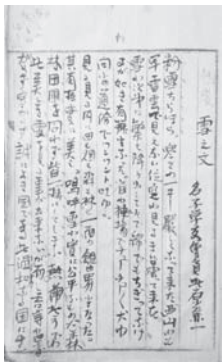
いろいろな作品が入っています。印刷した冊子ではなく提出された作品をとりあわせたもので、たった一冊の作品集です。編集は委員の何人かです。編集は委員の何人かです。製本できると会員に廻覧しました。一人何日と決めて廻されました。

明治・大正・昭和とそれぞれの時期によって、内容をはじめいろいろと違いがあります。

発行を始めた(明治期)の40年(1907)から43年までは、月1冊ずつの発行が守られ、たくさん作品が投稿されました。その後冊子のサイズが小さくなり、年間発行冊数も減少しました。最初のころは、

一般の作品のほかに課題テーマを決めて作品を募集し、多くの人が応募しました。テーマとなったのは、「花見に人を誘う文」「雪」「梅」「昨夜」「せみ」「朝」「秋」「初雪」「冬」などです。審査をされ良い作品には賞がつき、賞品がもらえました。発行を始めた最初のころの作品を見ると、誰かが短い文で批評を書いています。わりとストレートに良し悪しを書いています。

左の写真は、「雪」のテーマで入賞した人の作文です。「粉雪ちらほら、寒さ一そう厳しくなつて来た。西山わも早雪雲で見えない。」と書き出されています。(原文のまま)

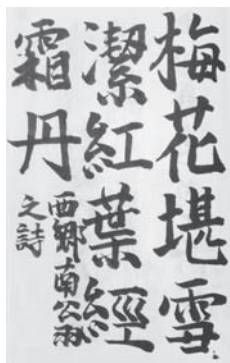


絵画作品や書写作品は、けつこうていねいに書かれて



います。

右の絵は日本の軍人を描いたものようです。日露戦争が終って2年後だからでしょうか。左は西郷隆盛の作った文の中からよく知られた「梅花雪に堪え潔し、紅葉霜を経て丹し」という部分が書かれています。



青年たちも西郷隆盛の詩を読んでいたのだと思います。

松川町資料館

伊坪 達郎

楽しい芸能

音楽と落語の宅配便

濱乃志隆独演会

- ◆日時 3月8日(日) 開場：午後1時 開演：午後1時30分
- ◆会場 松川町中央公民館 えみりあホール
- ◆出演者 濱乃志隆 (落語ができる音楽家)
- ◆入場無料

音楽を聞いてリラックス 一緒に歌ってストレス発散 落語で笑って明日への活力を 参加して一緒に楽しみませんか！

一緒に公民館報を作りませんか？

中央公民館では、本紙“公民館報まつかわ”を一緒に作ってくれる仲間を募集します！ 年齢性別問いません！ 会社員、自営業、主婦さまさまざまな町民の方が活躍しています。知識・経験も不要、一緒に楽しく館報づくりしませんか？



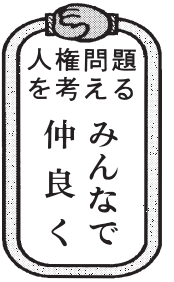
地域を知る講座

松川町の昔めくらし

- ◆日時 3月28日(土) 午後3時～5時
- ◆会場 松川町中央公民館 えみりあ 学習室1
- ◆講師 伊坪 達郎 氏 (松川町資料館)
- ◆料金無料

松川町に残されている史料を基に、江戸時代など当時の村々のことや人々のくらしについて初心者向けにお話ししていただけます。気軽にご参加ください。





松川北小1年

松川中央小学校一年生の
皆さんへ
中央小との交流を終えて

○ありがとうございます。ともだちができました。

(まさき)

○いっしょにあそべてたのしかったですよ。ちゅうおう小のひとにあうのははじめてだったけど、みんながともだちになってくれたから、いっばいともだちができました。たのしかったですよ。

(はるか)

○ドッチボールがたのしかったです。

(かずと)

○ともだちになってくれて、ありがとう。やきいもを、いっしょにたべてたのしかったですよ。うれしかったですよ。

(せな)

○ぼくは、ドッチボールがたのしかったです。人ずうがおかったのでびっくりしました。おいもがおいしかったです。たのしかったです。

(えいと)

○ドッチボールをいっしょにやってくれてありがとう。ちゅうおう小のおいも、おいしかったですよ。きた小のおいもはおいしかったです？

(ゆい人)

○いっしょにあそべてたのしかったですよ。

(じん)

○いっしょにあそんでくれてありがとう。またどこかであつたらあそぼうね。ドッチボールがたのしかったです。

(めみな)

○こうりゅうしてくれて、ありがとうございます。またこうりゅうしたいです。またやきいもをしたいです。たのしかったです。

(あさひ)

○こうりゅうしてくれてありがとうございます。おいもはあまくておいしかったです。また、らいねんもあそんでください。

(ひなた)

○いっばいあそんでくれてありがとうございます。こうりゅうさせてもらってありがとう。ドッチボールがたのしかったです。ありがとうございます。

(げんと)

○こうりゅうしてくれてありがとうございます。ちゅうおう小のおいもは大きかったです。きた小のおいもはおいしかったですか。

(みつと)

○やさしくしてくれてありがとうございます。ドッチボールもしてくれて、なかよくしてくれてありがとうございます。またいきます。ありがとうございます。

(かいしゅう)

○やきいもがたのしかったです。ありがとうございます。

(りょうま)

○いっしょに、やきいもをしてくれて、ありがとうございます。ドッチボールがたのしかったです。こうりゅうできてたのしかったです。

(ここな)

○ちゅうおう小の人といっばいおいもをたべられてうれしかったです。ちゅうおう小の人といっばいあそべてうれしかったです。ありがとうございます。

(ゆうしん)

○ちゅうおう小の一ねんせい、ぼくはドッチボールがたのしかったです。ちゅうおう小のおいもがおいしかったです。

(そう)

○いもをみんなでたべてよかったです。

(みらい)

○こうりゅうしてくれてありがとうございます。またあそんでください。

(ゆずき)

○ちゅうおう小のみなさん、ドッチボールがたのしかったですよ。まけてくやしかったです。おもしろかったです。

(あきと)

○こうりゅうしてくれて、ありがとうございます。二ねんせいになってもがんばります。

(かい)

○こうりゅうがたのしかったですよ。ぼくは、ドッチボールがたのしかったですよ。またあそぼうね。いもがおいしいよ。

(りょうすけ)

○こうりゅうしてくれてありがとうございます。ドッチボールをしてくれてありがとう。いももおいしかったです。いいてんきでした。

(りゅうと)



第6回南信州

まつかわ

ハーフマラソン大会

令和2年9月13日(日)

開催決定しました

ハーフマラソン大会開催にあたりましては、町民の皆さまのご理解、ご協力があつてこそ大会が成り立っています。この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。本年の大会は、9月13日

(日)に開催いたします。皆様からあげられましたご意見をお聞きするなかでひとつひとつですが改善していきたいと思っております。松川町の皆さんの力をお借りして、一つになってこの大会をつくりあげられればと思います。実行委員会では一緒に頑張っていただけの実行委員、大会ボランティアを募集しております。(48-6713)





どんな人なの？

松川町副町長 久保 友二さん



「ひと」は副町長の久保友二さん。坂

城町出身の55才。行事のない土日には坂城町にある奥さまと二人の娘さんが待つご自宅に帰られるよき父親。現在4度目の単身赴任中で初めての自炊生活を送っているそうです。生産者直売コーナーが最近のお気に入り。地物野菜を買ってきて料理を楽しんでいるそうです。

今月のあるものの、全域を見ていたために松川町にはあまり詳しくはなかったようですが、半年町で過ごしてみた印象は「人と人とのつながりが厚く、濃く感じる。自治会単位でいろいろと行事を行ったり、神社の境内の掃除などにも地域の方が積極的に出てきている。また、成人式の出席率がすごくてびっくりした。」と語ってくれました。



にこやかに取材にお答え頂いた

役場の中については「若い人たちとはなかなか交流する機会が少なく、町長がどんな話をしているのを見てコミュニケーションをとりたい」と思っている。町長については「もう少し仕事をセーブしてみよう。」



冬の俳句

松川中央小学校

どんごやき
だるまばやし

冬花火
片桐重柱衣

一冊

屋根からつき出る

りゅうのきば

清水 太一

除夜の鐘

静かな夜に 鳴らびびく

中村 優羽

冬の富士

山頂付近は 銀世界

水野 琉羽

大みそか

12時まで

おきられず

伊藤 千夏

真夜中に

賑わう神社

初詣
細江 彩



松川町リーダーバンク登録者募集

町の皆さんの多様な学習意欲にお応えするため、【松川町地域思いやり隊（松川町リーダーバンク）】をリニューアルします！「趣味のガーデニング 初心者の手解きなら…」「海外赴任で覚えた語学を子どもたちに」など あなたのちょっとした力を活かしてみませんか。

リーダーバンクとは？

グループや学校、区会・自治会では学習ニーズに応じた講師がなかなか見つからないという現実があります。

リーダーバンクとは、あなたの持っている知識、技術、ほかの人より経験があることを地域に還元していく仕組みです。

「講師」としての形だけでなく「身近な少し先輩」にリーダーとして登録していただき、学習したい方の求めに応じていただくものです。

地域の学習活動の支援や指導活動を通じて登録者自身が生きがいをつくり、人と人とのつながりができ、地域の生涯学習がより充実したものになることを願っています。

詳細は中央公民館（36-2622）もしくはHPをご確認ください。

俳句

春寒 鋤柄 郁夫

（宮坂）

法要の終わりにてまずは焼汁
薄氷や言わずもがなのことばかり
たんぼぼや土手に三つのランドセル
春寒やまた一人消ゆ住所録
おーい雲どこへゆくんだ西行忌



ひとひと 男と女 いきいき講座

令和2年1月25日(土)
松川町中央公民館 えみりあホール

第一部

激動する世界の

移民事情

「戦後・長野の女性
たちに探る生活改善
のヒント」



講師：朝日新聞社経済部次長 村山祐介氏

アメリカのトランプ大統領が当選したときにメキシコとの国境に壁を作るとした公約。この壁を取材したことをきっかけに2年にわたってアメリカへの移民事情を取材された村山さんからお話は、

衝撃的な内容でした。

なぜ移民するのか？私の認識では、単に貧困から逃れるためくらいに思っていました。が、実際には、マラスというギャンブル集団から自らの命を守るために逃げ出しているのだということ。移民しているのは、メキシコ人だけでなく、多くは中米のエルサルバドル、ホンジュラス、グアテマラの中米北部3か国であったということ。

移民を決断する人がいる一方、施しを待つのではなく、自分ができる生活改善（日本の戦後に行われていた）を行うことで誇りと自信を取り戻し、地元に残る選択をしている女性の話。

年々移民方法が変わり、今では「移民集団「キャラバン」を組んで堂々とメキシコを目指していること。…など、書ききれないほどの興味深いお話でした。

第二部

異なる中米の国

「エルサルバドルと
コスタリカを例にし
て」



講師：JICA調達部参事役 藤城一雄氏

昨年までエルサルバドルのJICA所長をされていた藤城さんは、松川町がコスタリカのホストタウンに登録されるきっかけとなる草の根技術協力活動のころからご縁がある方です。長く中米に赴任された経験を活かし、各国に関するクイズを出していただき会場の皆さんが答えていきましました。なかなか難しいクイズで40点以上答えられた方は10人程度でしたが、なじみのない中米と日本の比較などがあ

り理解が深まりました。質問の中に世界平等指数の問題があり、前述の村山さんがお話しされたエルサルバドル(79位)よりも日本(121位)の平等指数が低い位置にあるとの答えに会場から驚きの声が上がりました。

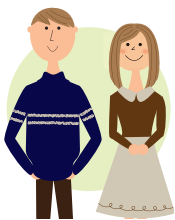
男(ひと)と女(ひと)

いきいき講座

とは

松川町では男女共同参画推進条例を制定して、男女共同参画を推進しています。男(ひと)と女(ひと) いきいき講座は、条例に規定する理解を深めるための学習活動に位置付けられています。男女共同参画社会は男女が共に協力し合って実現する社会です。今回の講座は、多くの男性にご参加いただき男女が共に学習できたことは次へのステップになったと思います。

生涯学習課 塩倉智文



2022年

令和になり早くも「2年」になっていきます。改元からまだ1年経っていませんが、あれほど騒いだ去年の5月1日が嘘のようです。ラグビーワールドカップが大変に盛り上がったことも、令和に変わった盛り上がりも、令和に変わったのかも少し薄れさせたのかもしれないですね。そして今年はオリンピック・パラリンピックです。日々、何事もなく過ごすことも大切ですが、盛り上がれることが毎年あるというのは、生活に変化があつて良いのではないのでしょうか。松川町はオリンピック・パラリンピックでコスタリカのホストタウンになっています。日本だけでなくコスタリカも応援することで楽しみも増えそうです。今のところ、このあたりの地域ではオリ・パラに対する盛り上がりはまだ感じられませんが、きっと始まればすごいでしょうね。チケット当たった人がうらやましい！

光澤 正之

公民館報

「まつかわ」

第 676 号

令和2年2月15日

発行所 松川町公民館

責任者 小 沢 誠

編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。